

社長メッセージ

2025年2月17日（月）

■「第3四半期決算短信〔日本基準〕連結」

皆様、おはようございます。先週14日（金）「第3四半期決算短信〔日本基準〕連結」を発表致しました。

この第3四半期は、第2四半期と同様、データセンター事業等の展開を進めやすくするために、B/Sを改善することに注力致しました。

この第3四半期の連結経営成績（累計）については、売上高607百万円（前年同期比190.7%増）、営業損失434百万円（前年同四半期237百万円の営業損失）、経常損失445百万円（前年同四半期276百万円の経常損失）親会社株主に帰属する当期純損失537百万円（前年同四半期265百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

売上高は増加したものの、営業損失、経常損失を計上致しましたが、現時点では、今期の連結業績予想を変更することは、第2四半期同様、考えておりません。

総資産は2,763百万円（前年同四半期1,216百万円）、純資産は1,943百万円（前年同四半期153百万円）、自己資本比率69.0%（前年同四半期13.4%）となり、大幅に改善することが出来ました。

第2四半期同様に、燦キャピタルマネージメント時代の不良債権の処理も着々と進んでおります。北浜キャピタルパートナーズとなって進めている、データセンター事業等の新たなチャレンジも順調に進んでおります。皆様、ご期待ください。

■「テックリートソリューション」

先週14日（金）、連結子会社であるSUN Digital Transformation 株式会社（取締役社長 水元宏治、以下「SUN DX」といいます）を通じて、次世代IT人材育成プログラム「テックリートソリューション」の提供を開始することを発表致しました。

「TECHLETE（テックリート）」とは、Technology（テクノロジー）、Athlete（アスリート）、Elite（エリート）を掛け合わせた、イノベーションに挑む次世代のIT人材を表すコンセプトのことです。

本プログラムは、SUN DXによる先進的な教育プログラムの提供と、当社によるエンダウメント投資（大学などの教育機関が寄付金などを基金として集めその資産を長期運用し、運用益を教育・研究活動に活用する投資手法）を組み合わせることで、教育機関の人材育成と財務基盤の両面を支援する総合的なソリューションです。

内閣府人工知能技術戦略会議（第7回）によれば、先端IT人材・一般IT人材が、年数十万人（2030年には60万人/年）不足するとされ、デジタル社会で活躍できる人材の育成が、わが国の最重要課題の1つとされています。このような状況において、単なる技術教育だけでなく、実践的スキルと創造性、論理的思考力を兼ね備えた次世代IT人材の育成が急務となっています。

SUN DXは、この社会的要請に応えるため、総合的な人材育成プログラム「テックリートソリューション」を開発いたしました。この「テックリートソリューション」により、教育機関と手を携えて、デジタル社会で活躍できる人材を育成していきます。これは、当社が展開するデータセンタ

一等の運用を担う人材の育成でもあります。前項で記した当社がデータセンター事業等の新たなるチャレンジも順調に進んでいるということの1つが、この「テックリートソリューション」の提供です。皆様、「テックリートソリューション」につきましても、ご期待ください。

代表取締役社長 前 田 健 晴